

体系古典文法 問題ページ一覧表

めやすとして、4ページで自習1回、全7回セットとしましたが、各自のペースで進めて構いません。1ページ10分程度で、1回が授業と同じ45分程度のまとまりですが、理解度や得意不得意によってもう少し時間が必要でしょう。

この課題は、問題演習をきっかけに解説をよく読んで文法の理解を深めることが目的です。分からないことがあっても当然と思ってまず1周して、出てきた苦手や不明点は学校が始まったら先生に質問して解決しましょう。3年次古典は文法を土台に本文を読む力に焦点を当てていきますので、ここでの学習が3年になってからの成績向上・受験対策のカギです！

《取り組み方》

1. 専用ノート（ルーズリーフ等可）に、「基本問題」「応用問題」「総合問題」を解く。
解説ページを活用して、分からないところには正解を色ペンで記入する。
2. 分からなかった問題について、文法書の対応するページを読み、理解する。
識別や詳説、ページ下の◎脚注は重要。よく読んで理解しておくこと。
3. 春休み明け最初の授業で提出する。分からなかった点は先生に聞こう！

回	ページ	内容	備考
1	12, 28, 29, 36	ことばときまり～品詞、用言	17～25トライも
2	44, 49, 51, 55	体言、その他自立語、助動詞1	
3	57, 59, 63, 65	助動詞2	
4	66, 68, 69, 71	助動詞3	
5	74, 75, 78, 86	助動詞4、助詞1	
6	89, 93, 97, 103	助詞2	
7	106, 110, 124, 139	助詞3、敬語、和歌の修辞	140暗記するとよい

※ [学習テク] 苦手や不明点があれば、ページに付箋を貼り解説に傍線を引こう。
質問するときも、調べ直すときも、時短&ヌケモレ予防ができます。